

市民の力でより身近なものに

市民後見シンポジウムを開催しました



▲福岡市で市民後見人として活動している二人から、活動内容や心構えについてお話がありました

認知症などによって判断能力が不十分になった人を支える成年後見制度。この制度に市民が広く関わる市民後見人の活動が福津市でも今年度から始まります。

これに先立ち、6月28日に市民後見シンポジウムをふくとびあで開催し、100人を超える参加がありました。基調講演では成年後見制度や市民後見人の定義などについて説明。シンポジウムでは先進地である福岡市での取り組みの発表があり、実際の事例を交えて詳しく紹介されました。また福津市の現状と今後の取り組みについても社会福祉協議会から説明があり、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。

大和保育所の新しいシンボルに

大和保育所でポストのペンキ塗りをしました

6月23日、大和保育所で年長児22人が郵便ポストにペンキ塗りをしました。

このポストはもともと旧福岡保育所（現双葉保育園）のシンボルとして親しまれていたもので、5月に大和保育所へ移設。

しかし、長い間風雨にさらされていたため、あちこちペンキが剥がれた状態でした。園児たちが細かい部分まで、はげで丁寧に重ね塗りすると、ポストは目にも鮮やかな赤一色の姿に。

きれいにお化粧直された郵便ポストは、年長児が来年3月に卒園する際にタイムカプセルとして使われます。



▲手や服にもペンキを付けながら一生懸命塗りました



▲夕陽風景時計除幕の様子



▲小雨の中、宮司の松林を初歩き

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

まちのわだい

〒811-3293(住所不要) ☎43・8113
福津市役所広報秘書課 広報ふくつつ

眺めて、歩いて、福津を再発見

夕陽風景時計とフットパスの開設記念式典がありました

7月6日、「夕陽風景時計とフットパス」の開設記念式典が開催されました。地域の皆さんの協賛で建てられた「夕陽風景時計」は、夕陽の沈む日時と、宮地浜から望む景色が記されています。主催者側は、美しい夕陽を眺めながら、福津から見える雄大な自然を学べる場としても広め守っていきたくて語っていました。

また、福津の風景を楽しみながら歩くことのできる小径「フットパス」は、松林や津屋崎千軒、宮地嶽神社などがルート上にあり、自然や歴史を味わいながら、新たな発見が期待できます。夕陽風景時計とフットパスの組み合わせで、さらに福津の魅力伝えていきたいとのことでした。

市民広報 ボランティア

「菖蒲まつり」を陰で支える人たち



6月15日まで開催された宮地嶽神社の菖蒲まつり。100種10万株もの凛とした美しい花を管理し、まつりを支えたのは、現場責任者の廣渡さんをはじめとする職員のかたがたです。境内に設置された竹製プールに植えられた菖蒲は見事に花をつけました。水やりのほか、「花がら摘み」という2番目の花をきれいに咲かせる大切な仕事があり、細やかな気配りで花を守っています。

「きれい!」という来場者の笑顔にやりがいを感じる廣渡さん。菖蒲まつりの後は総出で株分けの作業が8月まで続きます。

【櫻井紀子】

砂浜集会



6月23日、爽やかな初夏の津屋崎海岸で、津屋崎小学校の児童による砂浜集会が行われました。

およそ700人の児童が40グループに分かれて、「水族館といえば…」をテーマに砂像を作成。6年生が中心となって1・2年生に教えながら、砂を盛り固めたり、溝を掘ったりして形作りをした後は、ワカメや貝殻を飾り、仕上げにサラサラした白い砂を掛け、イルカやカメ、ペンギン、ヒトデなどを完成させました。

砂浜には協力して出来上がったたくさんの砂の芸術作品が並んでいました。

【中山和恵】

我が家の田植え



20年ほど前から毎年、自宅用と子ども家族、兄弟用にしめ縄を作っている。材料の稲わらは当初は農家からもらっていたが、十数年前からは自宅でもみから育てている。もみを苗床にまき、10cm程度に苗が伸びたら、プラスチックや発泡スチロールの容器に庭土を入れて田植えをする。苗5本を1株として45株ほど植える。秋に黒米の稲穂が垂れると収穫。そのわらを使って、毎年形や大きさを変えながら10個ほど作る。もみから育ててしめ縄まで作ると喜びが倍増!

【山本武利】

二胡とグランペールカルテットの演奏と歌



6月19日、花見公民館で花見1・2区福祉会主催の演奏会がありました。

中国楽器「二胡」の演奏では、5人の奏者が中国古来の曲や日本の「見上げてごらん夜の星を」「蘇州夜曲」などを演奏しました。哀愁を帯びた音色は心を打つものがあります。カルテットは49歳から81歳までの4人組で、テノールとバスの合唱は見事なものでした。最後に二胡の伴奏に合わせて、カルテットの皆さんと来場者の皆さんで「青山脈」など数曲を合唱しました。皆さん大きく口を開けて歌いました。

【徳永孝志】

あなたの周りの身近な出来事や
話題をお寄せください。

まちのわだい

〒811-3293(住所不要) ☎0940-43-8113
福津市役所広報秘書課 広報ふくつ行

■ 畦町の歴史を伝える産業遺産

■ 畦町で祇園祭と「世界一小さな蚕博物館」の竣工式がありました

7月14日、畦町で祇園祭の開催に合わせて「世界一小さな蚕博物館」の竣工式がありました。

古い赤レンガ造りの蚕博物館は、大正から戦前まで畦町でも養蚕が盛んだった頃、蚕の幼虫を入れる容器を硫黄燻蒸して消毒するための施設として造られたものです。養蚕が衰退した後は使われることなく放置されていましたが、唐津街道畦町宿保存会の皆さんの手により生まれ変わりました。中には蚕の一生を紹介する写真パネルや蚕の縫いぐるみ、実物の繭・絹糸などが展示されていて、自由に見ることができます。

神官による神事が終わると、子どもたちが山笠を曳いて祇園祭の始まりです。「わっしょいわっしょい」という掛け声とともに地域を練り歩きました。



▲「世界一小さな蚕博物館」はお祇園様の鳥居のすぐそばにあります



▲地域の人たちの声援を受けながら山笠を曳きます

みんな大好き!

わが家の宝



こじま そら
(上) 小島 鈴空ちゃん
平成 23 年 7 月 23 日生

こじま しん
(下) 小島 涼心ちゃん
平成 25 年 8 月 31 日生

的岡区

涼心ちゃん 1 歳のお誕生日おめでとう!

涼心ちゃんが我が家に来てくれてみんなとっても幸せです。涼心ちゃんのお好きなお兄ちゃんといつまでも仲良くして、元気に大きくなってネ!



にしぢ りょうが
(右下) 西地 稜華ちゃん 平成 18 年 8 月 16 日生

にしぢ つよし
(左下) 西地 剛志ちゃん 平成 21 年 7 月 3 日生

にしぢ そつま
(右上) 西地 蒼馬ちゃん 平成 25 年 8 月 5 日生

大和 1 区

たまにけんかもするけど、3人仲良く遊んでる時は、父さん母さんは幸せになります。これからも3人仲良くね。

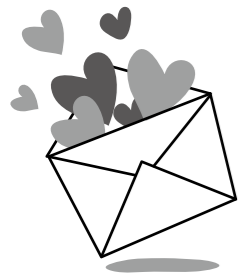


やの たくま
矢野 巧真ちゃん
平成 25 年 6 月 18 日生

原町 1 区

巧ちゃん 1 歳のお誕生日おめでとう。お兄ちゃんと仲良く、元気に育ってください。

市民広報 ボランティア



おたより寄せちゃってんしゅい

自由投稿コーナー「聞いてちゃってんしゅい!ふくつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福津市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしております。
※誌面の都合により、掲載できないことがあります。

点線に沿って切り抜き、必要事項を書いて、必ず切手を貼って投稿してください。

✂ 切りとり

POST CARD

8 1 1 3 2 9 3

フリガナ

◎ 氏名

◎ 年齢 歳 ◎ 性別 男・女

◎ ペンネームまたはイニシャル

※記載がない場合は、実名での記載とさせていただきます。

◎ 住所
〒

◎ 電話() -

福津市役所広報秘書課
広報広聴係 行

お手数ですが
52円切手をお貼りください

✂ 切りとり

ふくつ便

自由投稿コーナー



問い合わせ
福津市広報秘書課
(福間庁舎)
☎0940-43-8113

親子で探検隊 ～“くぐり岩”へ行こう～



6月14日、福津暮らしの旅主催による「親子で探検隊～“くぐり岩”へ行こう～」がありました。

津屋崎ヨットハーバーから、海岸沿いを恋の浦の方へ歩いていくとあるくぐり岩は、潮が引いたときだけ姿を見せる洞窟です。行き着くまでの道のりが険しかったこともあり、洞窟を目の前にすると自然への畏敬の念が改めて湧いてくるような感動がありました。参加者からも「自然の力ってすごい。近くにこんな素晴らしい場所があるなんて嬉しいですね」と声が上がっていました。

【下田弘美】

ジャガイモ収穫



6月15日、みずがめの郷の近くの農場で神興東郷づくり環境・景観部会のジャガイモ収穫があり、一般からおよそ25人、福間東中学校からおよそ30人の生徒の参加がありました。ジャガイモの種類はメークイン、男爵、キタアカリ、デジマの4種類。大きいもので10cmぐらいいまで成長していました。今年は豊作で、かわいいジャガイモがたくさん収穫できました。

今年初めて参加した中学生が農業体験を通じて、収穫の喜びや食べ物大切さを感じてくれたようで良かったです。
【西ノ原ゆき子】